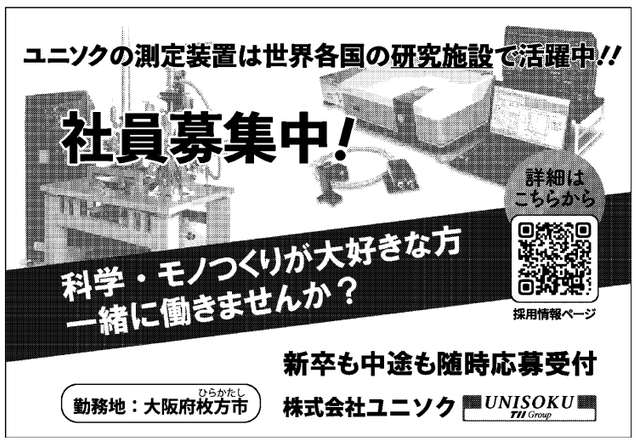

きょう 表彰式

中小企業研究センター（東京都台東区、林信秀理事長）は「第57回グッドカンパニー大賞」の表彰企業を発表した。グランプリを獲得した関ケ原製作所（岐阜県不破郡）、ヒメジ理化（兵庫県姫路市）の両社をはじめ、全国から17社が選ばれた。２月１日14時から東京・大手町経団連会館で表彰式が行われる。

第57回 グッドカンパニー大賞

中小企業の総合的・実証的な調査研究表彰

グッドカンパニー大賞を主催する中小企業研究センターは、産業界の有力企業を会員に任意団体として1966年に発足した。以来、中小企業に関わる総合的・実証的な調査研究事業と、優れた中小企業を全国から発掘し顕彰する表彰事業を主な活動としている。官庁や公的機関などからの広範囲にわたる協力を得て、わが国の中小企業の振興を行う特色ある団体だ。

グッドカンパニー大賞は設立時から継続していた「中小企業研究センター賞」を、第40回の節目に改称したもの。わが国で歴史と実績のある中小企業のための賞である。

選定の対象となるのは中小企業で、創業あるいは設立後3年以上の法人および個人企業。ただし、上場企業や、同法に定義する中小企業の基準を超える企業の子会社・関連会社は除いている。

同賞は全国水準において優れた企業に贈られる「グランプリ」、グランプリに準ずる優れた企業への「優秀企業賞」のほか、現代社会の緊要な要請に対して特に貢献度が高く、将来性があると認められる企業への「特別賞」、さらに新事業・新技術の独創性、革新性に秀でており、将来性があると認められる企業への「イノベーション事業化推進賞」がある。

今回グランプリに輝いたのは関ケ原製作所とヒメジ理化の2社。そのほか優秀企業賞にアシザワ・ファインテック（千葉県習志野市）をはじめとした9社、特別賞にユニソク（大阪府枚方市）をはじめとした4社、イノベーション事業化推進賞に2社が選定された（表）。表彰企業には表彰状と純銀メダル、奨励金が贈呈される。

前回（第56回）の表彰式

第57回グッドカンパニー大賞受賞企業

	企業名	代表者名	所在地	事業内容
グランプリ	関ケ原製作所	矢橋 英明	岐阜県不破郡	はん用機械器具製造
	ヒメジ理化	赤錆 充	兵庫県姫路市	半導体製造装置用石英ガラス製品、産業用ランプ製造など
優秀企業賞<北海道・東北地区>	河北ライティングソリューションズ	今野 康正	宮城県石巻市	特殊用途向けハロゲンランプなどの開発、製造
<関東地区>	アシザワ・ファインテック	加藤 厚宏	千葉県習志野市	産業用粉体機器の開発・製作・メンテナンス、受託加工
<関東地区>	メトロール	松橋 卓司	東京都立川市	高精度工業用センサーの開発・製造など
<北陸・甲信越地区>	Ｊマテ．カッパープロダクツ	山本 耕治	新潟県上越市	非鉄金属製品製造業
<東海地区>	大野ナイフ製作所	大野 武	岐阜県関市	家庭用・業務用刃物の製造および卸販売
<近畿地区>	フジトランスポート	松岡 弘晃	奈良県奈良市	一般貨物自動車運送事業、第一種貨物利用運送事業
<近畿地区>	北海鉄工所	林 孝彦	大阪府岸和田市	鏡板、鉄道車両台車部品、モニュメント製造ほか
<中国・四国地区>	総合開発	大久保 健吾	香川県高松市	コンクリート二次製品の製造販売、リネンサプライ業ほか
<九州・沖縄地区>	アステック入江	入江 伸一郎	福岡県北九州市	鉄事業、鉄関連事業（環境リサイクル事業など）
特別賞	アデリー	小野 典子	山口県柳井市	ギフトの総合プロデュース
	大和板紙	北村 貴則	大阪府柏原市	パルプ製造業および紙加工業
	ユニソク	宮武 優	大阪府枚方市	走査型プローブ顕微鏡、高速分光装置などの計測機器製造
	リハプライム	小池 修	埼玉県さいたま市	介護・医療関連事業など
イノベーション事業化推進賞	コネクテッドロボティクス	沢登 哲也	東京都小金井市	食産業向けロボットサービスの研究開発および販売
	ペットリファインテクノロジー	伊賀 大悟	神奈川県川崎市	ペットボトルのリサイクルおよびリサイクル樹脂の製造

※敬称略

優秀企業賞 アシザワ・ファインテック

ナノレベルに微細化技術

アシザワ・ファインテックは1903年に鉄工所として創業し、ボイラの釜や蒸気機関車などを製作していた。80年代からビーズミル（微粉砕機）の製造を始めるが、後発かつ寿命が長い機械で更新需要も大きくなく参入当初は大苦戦した。

本業の赤字を不動産賃貸収入でしのぐ時期が続く中、2000年に現会長が社長就任。退路を断ちメーカーとして独り立ちを決断した。いったん全従業員を解雇した上で新会社を立ち上げ、再雇用して再スタートを切る。生き残るために「より小さく」とナノテクに特化して研究開発を進め、05年に「マイルド分散」技術を開発。以降、ナノレベルに微細化できる数少ない企業として発展している。

ビーズミルはビーズの力で粒子を細かくする微粉砕・分散機。乾式と湿式に大別されるが、液体中で試料を微細化する湿式ビーズミルは同社の代名詞となっている。用途に応じナノレベルまで微細化が可能で、ビーズ径の1000分の1までの微細化技術を持つ。スマートフォン用積層コンデンサー、電気自動車（EV）バッテリー、食品・化粧品、印刷インクと、さまざまな分野で世界のトップ企業がエンドユーザーとして利用している。

次の成長に向け、微粒子技術研究所や生産技術研究所で基礎研究や先端技術開発に取り組む。創業家以外から社長を起用するなど、技術・経営両面で体制を整える。

ナノ社会に必要不可欠な会社として、今後のさらなる発展が期待できる。

特別賞 ユニソク

ＳＴＭ－絶対零度で測定

ユニソクは1974年にユニークな測定機器の提供を目指して分光計測器製造で創業した。86年に日本初の走査型トンネル顕微鏡（ＳＴＭ）を発売。ＳＴＭは物質表面の原子レベルの電子状態や構造などの観測装置で、主に基礎科学研究で利用される。温度が低いほど観測精度が高く、同社は「強磁場・極低温」を極める戦略を推進している。

2012年には世界最低温（ほぼ絶対零度のマイナス273・11度Ｃ）で測定可能なＳＴＭ「ＵＳＭ1600」を開発。原子レベルの物性を明らかにした研究成果が英ネイチャー誌や米サイエンス誌で発表されると絶大な宣伝効果となり、海外売り上げが10年で3倍の15億円に増加した。世界トップ水準の研究者を顧客に、最先端の情報やニーズへ迅速にカスタマイズする好循環で低温ＳＴＭの世界シェア6割、絶対零度に近い温度域では100％とニッチトップに成長している。

ＳＴＭ製品の発展だけではなく、17年には計測が難しいギャップ時間帯（1―100ナノ秒）の現象を捉える特許技術を搭載した過渡吸収分光システム「ｐｉｃｏＴＡＳ」も開発した。

23年には国内基礎研究の裾野拡大のため研究資金や設備が十分でない研究者向けに、社内で最先端の測定環境を整備したレンタル事業を開始。また液体ヘリウムのリサイクルシステムやヘリウムフリー装置の開発など省資源にも注力している。

科学研究分野で数々の研究成果に貢献した功績は大きく、今後もさらなる発展が期待できる。

グッドカンパニー大賞（旧・中小企業研究センター賞） これまでの受賞企業（1月29日現在）

一覧は「全国表彰」および06年からの「グランプリ」のみを抜粋して掲載しています。社名は現社名です。

年度	現社名
1967	京セラ
	ササクラ
	エクセン
	古野電気
	MUTOH ホールディングス
1968	相川鉄工
	オイレス工業
	サタケ
	スギノマシン
	エスペック
1969	大阪真空機器製作所
	共栄工業
	日東工器
	山田ドビー
	レオン自動機
1970	クレトイシ
	西村製作所
	浜松ホトニクス
1971	コロナ
	三進製作所
	東海機器工業
	三井ハイテック
	安田工業
1972	カルビー
	島精機製作所
	島崎製作所
	ミツカン
	モリタ製作所
1973	カメヤマ
	シヤチハタ
	長府製作所
	タツノ
	日本カノマックス
	ピジョン
1974	イシダ
	コルコート
	松阪鉄工所
1975	アトミクス
	大川原製作所
	大成機工
	武内プレス工業
1976	オルガン針
	タテホ化学工業
	立川ブラインド工業
	保志
	ホーライ
1977	菊水化学工業
	京都機械工具
	西川ゴム工業
1978	高砂工業
	竹村製作所
	みのる産業
1979	ディスコ
	日本全薬工業
	ノーリツ鋼機
1980	タカラトミー
	日研工作所
	パロマ
1981	アイホン
	キタムラ機械
	ポーライト
	八幡電機製作所
1982	長野計器
	ホーユー
	アピックヤマダ
1983	旭エレクトロニクス
	スガ試験機
	メニコン
1984	オギハラ
	シバソク
	潤工社
	未来工業
1985	三和ニードルベアリング
	ゼンリン
	フジシールインターナショナル
1986	アイジー工業
	きもと
	東洋炭素
1987	旭製作所
	日本地工
1988	大協精工
	マニー
	ミスミグループ本社
1989	エムジー
	TOK
1990	福井鋲螺
	平安コーポレーション
1991	カジワラ
	アークレイ
	ブンリ
1992	旭サナック
	大森機械工業
	フセラシ
1993	棚橋工業
	パール金属
	マルコメ
1994	オクダソカベ
	松山
	モルテン
1995	カナエ
	サイデン化学
1996	石川ガスケット
	日進医療器
	光精工
1997	メガチップス
	名南製作所
	ヤマキ
1998	エーワン
	大昭和精機
1999	オフテクス
	ネクスタ
	光製作所
2000	星野楽器
	マルヨ水産
2001	菊水酒造
	サンコーインダストリー
2002	塚谷刃物製作所
	ユケン工業
2003	ツカサ工業
	日高精機
2004	栗山米菓
	三琇プレシジョン
2005	日本メタルガスケット
2006	伊那食品工業
2007	日本フイルター
2008	小松精機工作所
2009	京都科学
2010	アイジーエー
	日新製薬
2011	アルケア
	協和化学工業
2012	トライス
	マルカン
2013	原田
2014	中興化成工業
	東振精機
2015	ナミックス
2016	アイオー精密
	東研サーモテック
2017	八海醸造
	銘建工業
2018	シノテスト
	ヨシダエルシス
2019	オリオン機械
	兵神装備
2020	テクノア
	湯山製作所
2021	高知丸高
	ワッティー
2022	清川メッキ工業
	三笠産業
2023	関ケ原製作所
	ヒメジ理化